

グリコンの方に 聞きました

日頃の取組み・グリコンへの思い

グリコンのリーダーを養成するため、市では今年3回「環境リーダー養成講座」を行いました。この講座の受講生、新人グリコンの方に、日頃の取組みやグリコンへの思いなどを伺いました。

お店を動かすのは私たち

普段からマイバッグの持参はもちろん、ペットボトルを再利用したり、野菜をばら売りで買ったり、原産地表示を必ず見たりとグリコン活動をしています。あまり神経質にやろうとすると長続きしないので、無理せず自分のできる範囲で行っています。皆さんには、グリコンの第一歩としてまず「マイバッグ」をもってほしいですね。

私もそうだったように何か1つ実行に移すと、意識がついてくるようになります。環境にいい商品を並べてもらえるよう、お店を動かすのは私たち消費者です。ぜひ一緒にグリコンになりましょう。



敦賀市環境リーダー
中道 恭子さん

エコにも健康にもよいことを

私は、買い物は妻に任せていて、自分で買い物に行くことはあまりないです。しかし、買い物に行ったときは環境のことを意識して、焼酎の量り売りを利用したり、ペットボトルや缶入りお茶ではなく茶葉を買ったりなどしています。

また、買い物以外でも自転車の利用やエアコンを利用しないなど、エコにも自分の健康にも良いことを普段から心がけています。今回の養成

講座では、地球温暖化による被害や、物の有効利用がなされていないことなどを再認識しました。グリコン活動は、地球規模の環境を変えていく一つの効果的な手法です。ぜひこの輪を広げていきましょう。



敦賀市環境リーダー
柴山 忠生さん

グリコンの必須アイテム

MY BAG マイバッグ MY BAG

グリコンとして「マイバッグ」は必需品です。マイバッグを使うことでレジ袋は不要になり、原料である石油資源の削減やごみ減量につながります。循環型社会推進のために市と協定を結ぶ「福井県民生活協同組合ハーツつが店」では、レジ袋削減のため、昨年10月から有料化を実施し、現在では持参率が90%を越えました(有料化前は50%台)。このレジ袋の売上金は「傘からマイバッグ」事業などの環境活動につながっています。市では、マイバッグ持参運動を今後も進めていきます。これからも皆さんのご協力をお願いします。



⑤ 自然や健康を損なわないものを選ぶ「みんなにやさしい無農薬」

⑥ 作った人に公平な分配がされているものを選ぶ

⑦ 化学物質の少ないものを選ぶ「添加ゼロ、体に害なし、いい食品」

⑧ 再生原料から作られたものを選ぶ「ついでにエコマーク」

⑨ 近くで作られたもの、旬のものを選ぶ「やっぱりとれたて地元産」

⑩ 環境対策に熱心な店で買う「応援しようエコなお店」

「グリコンって何？」

グリコンとは「グリーンコンシューマー」【Green Consumer】の略です。直訳すると「緑の消費者」。この場合の「緑」は「環境にやさしい」を意味しています。つまり、グリコンとは「環境のことを考えて買物をする消費者」のことです。

私たちは現在、環境破壊・汚染の被害者でもあります。他方では原因をつくっている側でもあります。地球規模の環境問題を根本から解決していくには、私たちがまず、大量消費、大量廃棄といった暮らしぶりを

「グリコンが増える？」

買物をするときに、環境にやさしいかどうか

をちょっと考えてみる。そして環境や家族の健康にやさしい商品を選ぶ。そんな買物客(すなわちグリコン)が増えようと、お店の品揃えも変わり、企業が作る製品も変わっていきます。

「グリコンになるには？」

では、どうしたらグリコンになれるのか。次の「グリーンコンシューマー10原則」をご覧ください。

- ① 必要なものを必要なだけ買う「手にとる前に『いるかしら』」
- ② 長く使えるものを選ぶ「長持ち修理 大歓迎」
- ③ 包装の少ないものを選ぶ「ほしいものは身だけ」
- ④ エネルギー消費の少ないものを選ぶ「買い替えるならエコ家電」

あなたも今日から仲間入り

敦賀に「グリコン」の輪を広げよう

